

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(米国2018年7-9月期GDP速報)

2018/10/29

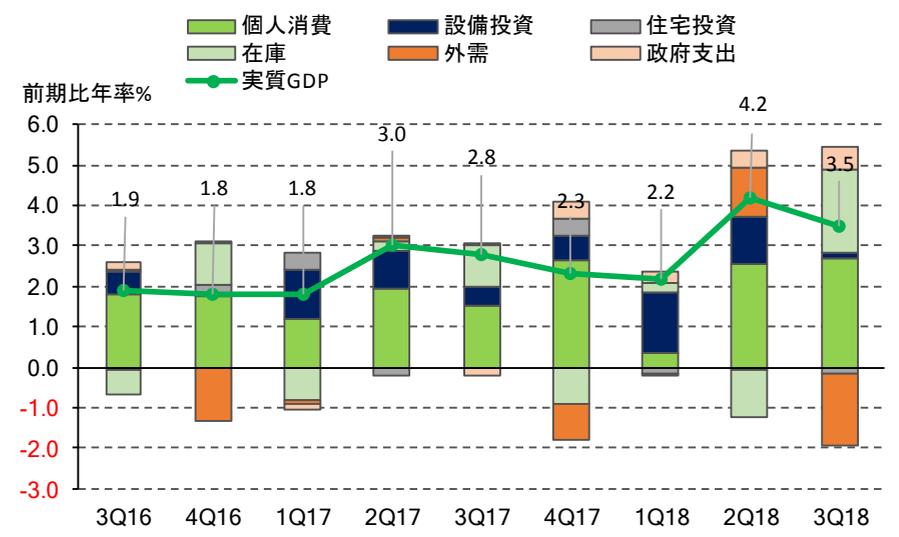
りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

- ◆ 7-9月期実質GDP成長率は前期比年率+3.5%
 - ◆ 個人消費は市場予想に反して前期から伸びが拡大
 - ◆ コアPCE価格指数は前期比年率+1.6%と伸びが縮小
- ✓ 2018年7-9月期実質GDP成長率は前期比年率+3.5%となった(市場予想+3.3%、4-6月期+4.2%)。尚、コアPCE価格指数は前期比年率+1.6%と伸びが縮小した(4-6月期+2.1%)。
 - ✓ 個人消費は前期比年率+4.0%(市場予想+3.3%、4-6月期+2.1%)と伸びが拡大。耐久財(4-6月期+8.6%→7-9月期+6.9%)は伸びが縮小、非耐久財(+4.0%→+5.2%)、サービス(+3.0%→+3.2%)はそれぞれ伸びが拡大。
 - ✓ 設備投資は前期比年率+0.8%(4-6月期+8.7%)と伸びが縮小。内訳をみると、構築物(+14.5%→▲7.9%)、知的財産(+10.5%→+7.9%)、機器(+4.6%→+0.4%)の伸び率が低下。住宅投資は前期比年率▲4.0%(4-6月期▲1.3%)となった。
 - ✓ 在庫は前期比年率ベースでの寄与度が+2.07%ポイント(4-6月期▲1.17%ポイント)とマイナス寄与。
 - ✓ 輸出は前期比年率▲3.5%(4-6月期+9.3%)、輸入は+9.1%(4-6月期▲0.6%)となった。
 - ✓ 政府支出は前期比年率+3.3%(4-6月期+2.5%)。連邦政府の支出(+3.7%→+3.3%)は国防関連(+5.9%→+4.6%)中心に伸びが縮小。地方府の支出は+1.8%→+3.2%と伸びが拡大。
 - ✓ PCE価格指数は前期比年率+2.7%(4-6月期+2.6%)。コアPCE価格指数(食品・エネルギーを除くベース)は+1.6%(4-6月期+2.1%)となった。
 - ✓ 減税効果が薄れるなかでも個人消費の伸びが拡大し成長を牽引した。外需はマイナス寄与が大きい輸出の前期からの反動と輸入で対中関税発動前の駆け込みの影響が生じたとみられる。

【実質GDP成長率(季節調整済、年率)】



【実質GDP成長率寄与度(季節調整済、年率)】

	2017Q3	2017Q4	2018Q1	2018Q2	2018Q3
実質GDP	+2.8	+2.3	+2.2	+4.2	+3.5
個人消費	+1.5	+2.6	+0.4	+2.6	+2.7
設備投資	+0.5	+0.6	+1.5	+1.2	+0.1
構築物	▲0.2	+0.0	+0.4	+0.4	▲0.3
機器	+0.6	+0.6	+0.5	+0.3	+0.0
知的財産	+0.1	+0.0	+0.6	+0.5	+0.4
住宅投資	▲0.0	+0.4	▲0.1	▲0.1	▲0.2
在庫	+1.0	▲0.9	+0.3	▲1.2	+2.1
外需	+0.0	▲0.9	▲0.0	+1.2	▲1.8
輸出	+0.4	+0.8	+0.4	+1.1	▲0.5
輸入	▲0.4	▲1.7	▲0.5	+0.1	▲1.3
政府支出	▲0.2	+0.4	+0.3	+0.4	+0.6

【出所】米商務省、Haver Analytics

◎注意事項
 当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。